

福島県地域活動団体 情報シート (2017年度)

設立年	1990年	4月	設立後		満28年	法人登記	2006年	4月
法人格/ふりがな	法人格名		ざ・ぴーぷる					
団体名	特定非営利活動法人		ザ・ピープル					
代表者氏名	吉田 恵美子				役職	理事長		
活動拠点 所在地	郵便番号	971-8168						
	住所	福島県いわき市小名浜君ヶ塚町13-6						
団体TEL	0246-52-2511			FAX	0246-92-4298			
URL	http://npo-thepeople.com			メールアドレス	the-people@email.plala.or.jp			
活動エリア	いわき							
活動分野 (テーマ)	保健・医療・福祉の増進	社会教育の推進	まちづくりの推進	農山漁村 中山間地域	環境の保全	災害救助	国際協力	
	子どもの健全育成	経済活動の活性化	職業能力開発・ 雇用機会拡充	中間支援				
団体概要 (定款・会則による 団体のミッション 等)	この法人は、自分たちが住むまちの問題を、自分たち自身が考え、その解決のため主体的に行動する、そうした住民の存在がこれからの地域を支える基盤であると考え、「住民主体のまちづくり」を進めることを大きな活動の目的とする。また、「地域」に対する意識を広げ、地球市民のひとりとして自分たちの果たすべき役割を担うことを目的とする。							
直近3年の主な 事業 (実績)	○古着リサイクル関連事業 ○ワークショップ・講演会・市民啓発事業 ○東日本大震災後の復興支援にかかる諸事業 の連携促進				○在宅障害者自立支援事業 ○ボランティア活動体験・研修受入れ事業 ○日本チャリティーショップネットワーク内での活動 の連携促進			
今年度主な事業 (取組み)	○古着リサイクル事業の地域内循環に向けたビジネス性の確立 ○古着を素材とするリメイク品・反毛手法を生かした手工芸品による事業展開の促進 ○フードバンク事業立ち上げの検討 ○本会活動拠点整備事業 ○海外の団体とつなぐ活動の展開 ○東日本大震災後の復興支援にかかる諸事業実施							
役員・会員	役員	理事/監事	10/2人	正会員	11	個人11/団体0		
前年度収入 (決算)	50,064,469	千円						
地域へのメッ セージ	東日本大震災を契機に、私たちの活動は大きく変容を遂げました。それまでの20年間の活動がまさにそこから始まる怒涛のような日々に向かうための助走期間であったような気がしています。環境問題から入った私たちの活動は、社会福祉や第一次産業活性化といった面まで、町を取り囲む様々な問題への市民活動的なアプローチへと広がっていきようとしています。							

◆いろいろお伺いしました

a. 震災から7年を過ぎ、今後への展望

震災後立ち上げた事業として、●小名浜地区ボランティアセンター(以前は(社)いわき市社会福祉協議会の運営する災害ボランティアセンター・復興支援ボランティアセンターと連携して運営)における被災者・避難者支援並びに交流促進事業の展開 ●ふくしまオーガニックコットンプロジェクトによる農業と人のつながりの再生を目指す事業 などがある。今後は、震災起因の生活困窮者の出現などが懸念されている。現在は、今後の社会状況の変化に対応すべく、フードバンク事業の立ち上げを検討している。

b. 理事会や事務局機能、会計・監査機能の整備

一昨年度、財務管理に関して、ある財団からの助成を受け、専門家の指導を得た。これにより、会計処理が明確化され、現状の把握が進んだ。

c. 資金集め(会費・寄付)や自主事業収入について

被災者・避難者支援事業に着手する前は、基本的に古着リサイクル関連事業によって得られる収益金で事業費のベースを確保することができており、助成金に依存しない体質を構築できていた。震災後は裨益者に経費負担を求めにくい活動に軸が移ったことで、補助事業への依存度が高まっている。今後、補助金などの先行きが不透明な中、危機感を抱いている。

d. 法人格の選択及び認定NPO法人・公益法人取得について

特に現状を変えることは考えていない。

e. 活動への福島の復興の影響

これまでの7年間で社会状況は大きく変化する中で、活動を容容させざるを得なかった。それはプラスのこともあるが、反面課題が見えにくくなっていくといったマイナス面も含んでおり、その変化にどのように対応していくかが問われていると考える。